

ジョリパットアルファ  
JP - 100シリーズ  
すずらん仕上げ  
施工の手引き

【初版】平成22年4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	135 ~ 180 m <sup>2</sup> / 缶 (水希釈 50%の場合)
主 材	ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ 標準色 JP-100T ( ...数字 ) 特注色 JP-100 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>レ</sup> 缶	約 7 m <sup>2</sup> / 缶

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン (口径 4 ~ 6 mm)
- ・ マスチックローラー (ジョリパットローラー JR - 20 : 9インチ) 又は、  
金ゴテ
- ・ すずらんローラー (ジョリパットローラー JR - 53 : 9インチ)
- ・ ヘッドカットローラー (平面用 : ジョリパットローラー JR - 26)  
(隅 用 : ジョリパットローラー JR - 27)
- ・ コンプレッサー (2 . 2 kW (3馬力以上) : 1台使用の場合)

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

## <すずらん仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18%
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JP - 100シリーズ	20kg
	清 水	1.5 ~ 2%
塗 布 量	約0.9 kg / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5 ~ 7 kg f / cm <sup>2</sup> (0.51 ~ 0.71MPa)	
使用ガン	リシンガン口径 4 ~ 6 mm	
左官業者の場合は、ジョリパットアルファを無希釈で 0.9 kg / m <sup>2</sup> となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。 (下ごすり)		

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

・金ゴテにてジョリパットアルファが約2 kg / m<sup>2</sup>となる  
よう均一に配り塗りする。

#### 追いかけ (5分以内)

### 4. パターン付け

- ・配り塗りしたジョリパットアルファが乾燥しないうちに、  
すずらんローラーJR - 53を横方向に転がし横パター  
ーンを付ける。(図 - 1)
- ・次に、上から下へローラーを転がし、縦パターンを付ける。
- ・塗り継ぎ部分は重ね合わさらないでパターンを付ける。  
(図 - 2)

#### 追いかけ (5分以内)

### 5. ヘッドカット (押さえ)

- ・ヘッドカットローラーJR - 26 (平面用) や  
JR - 27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、ジョリ  
パット模様の表面をカットローラーが転がるよう軽く押  
さえる。

### <施工のポイント>

- ・ 力を入れず、すずらんローラーJR - 53が回転するようにしてパターン付けする。
- ・ すずらんローラーの溝にジョリパットがたまらないよう、常にきれいに保つ。溝にジョリパットがたまった場合は、ブラシなどで洗浄すると、再びきれいなパターンができる。
- ・ パターン付けは最初にすずらんローラーを左から右へ転がし、次に縦方向へ真っ直ぐローラーを転がす。(図 - 1、 )

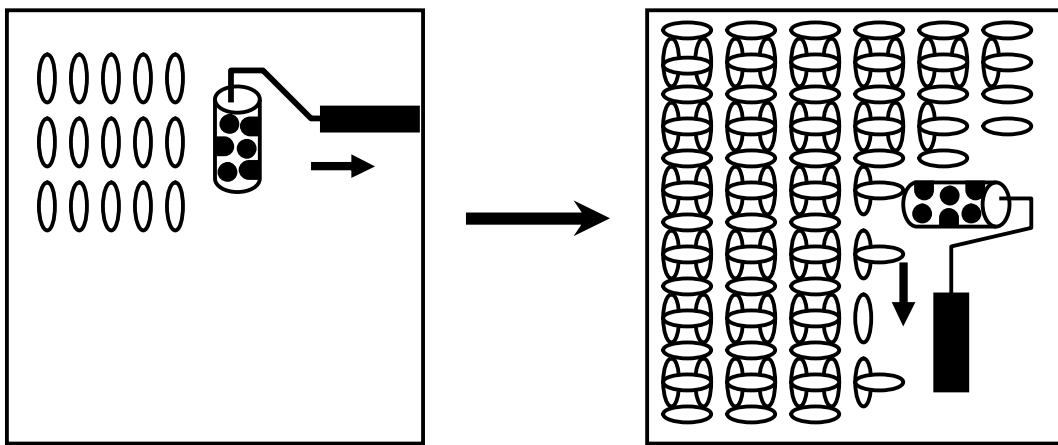
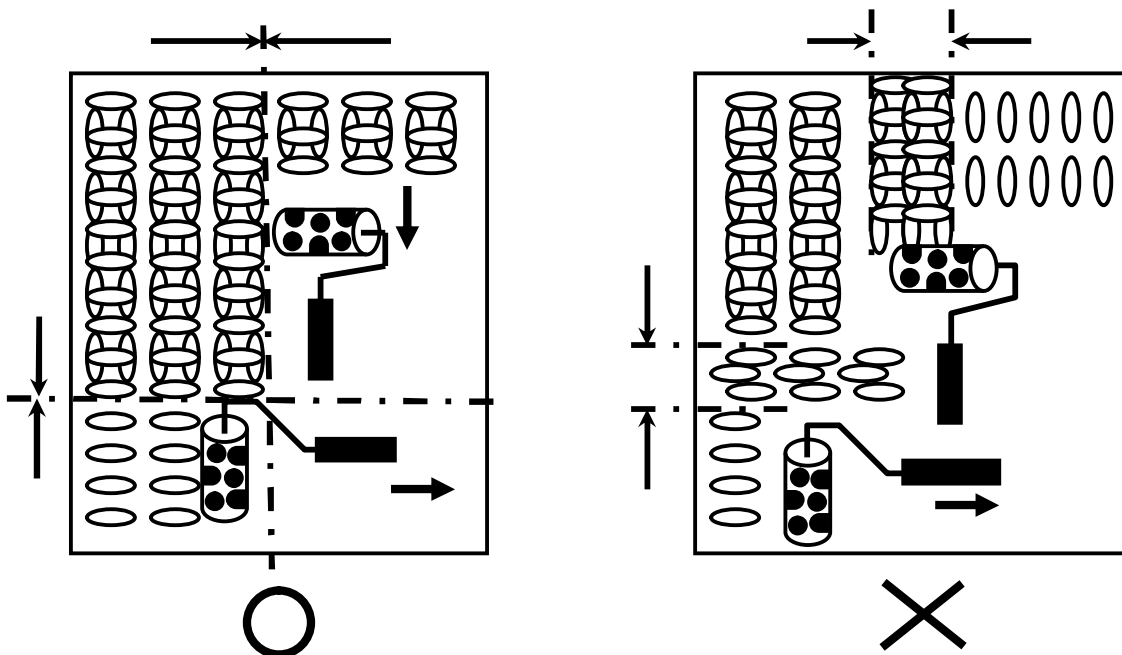


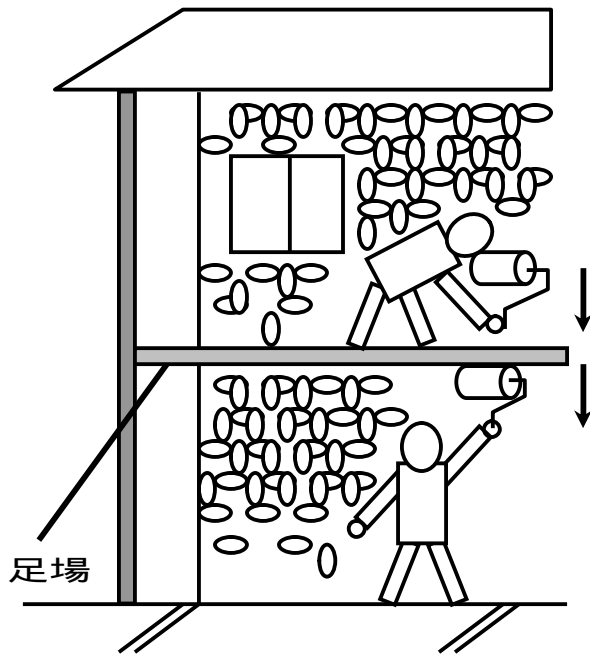
図 - 1



塗継ぎはローラーを重ねない。

図 - 2

### < 施工の注意事項 >



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。ジョリパットの表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 3

- ・ 大面積を施工する場合、ジョリパットの表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。(図 - 4)

(例)

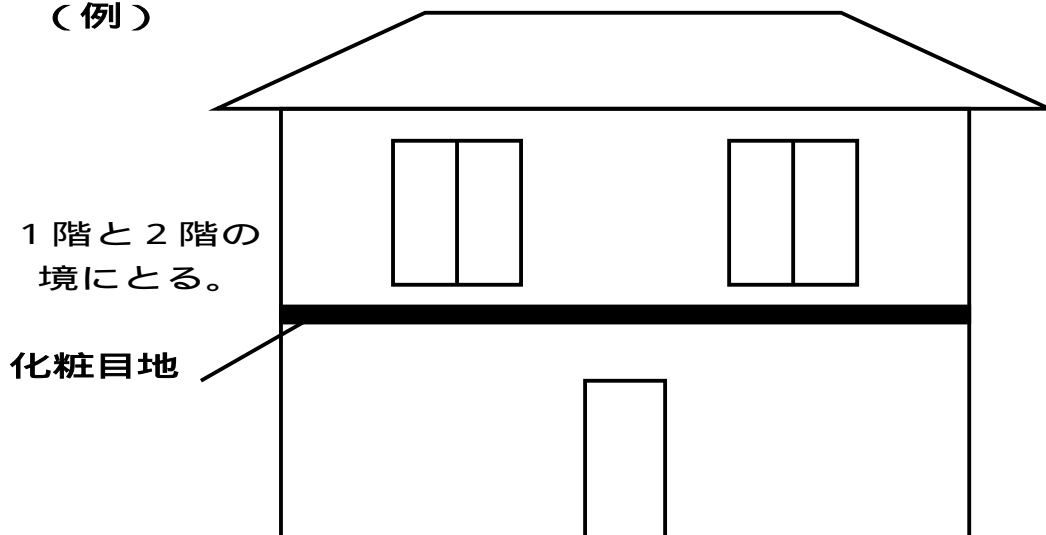
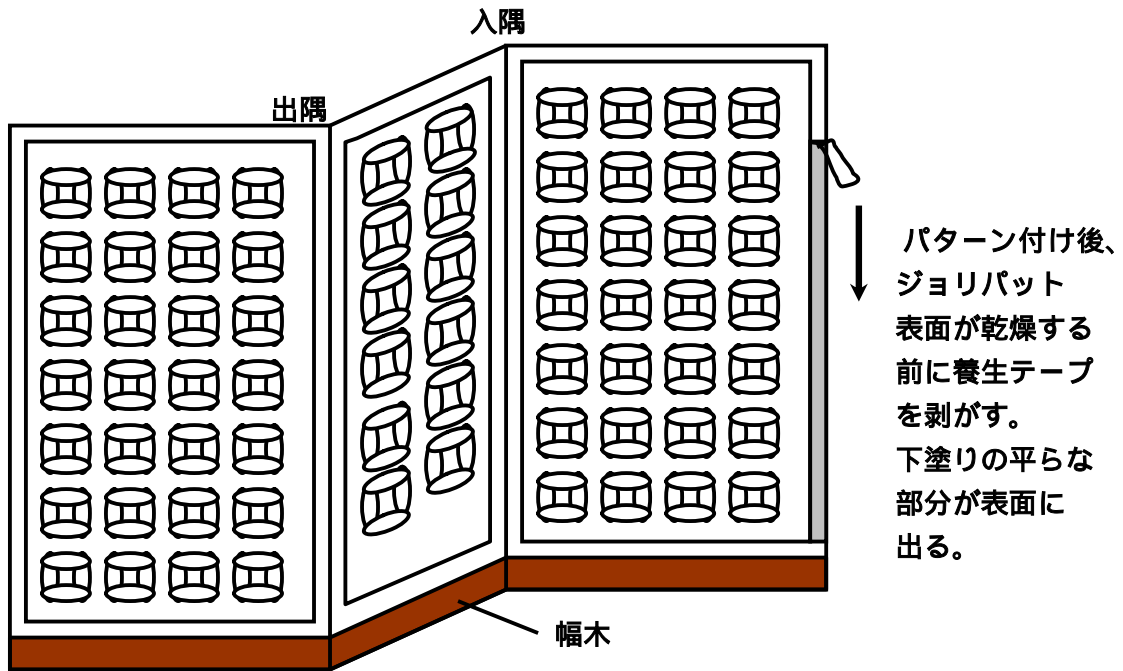


図 - 4

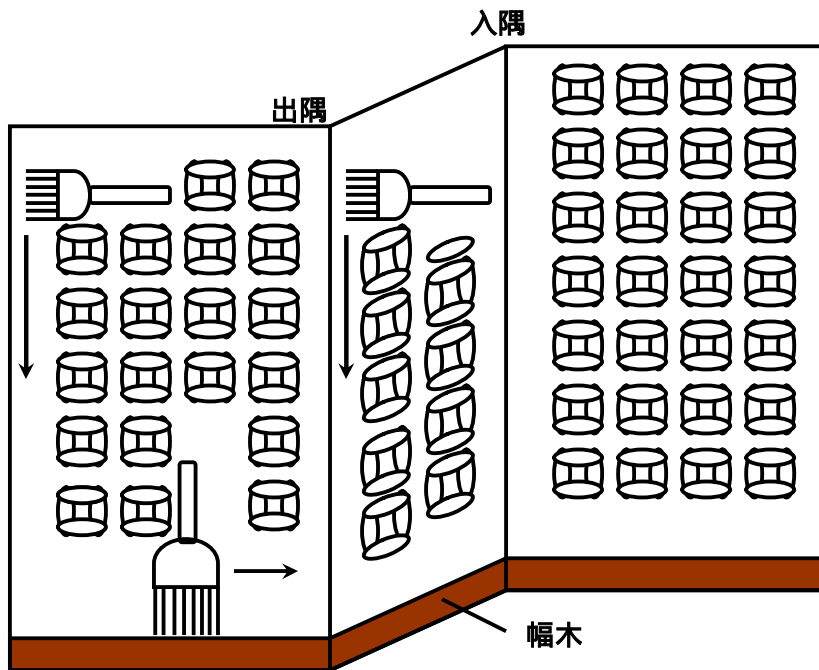
### 入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛(平刷毛など)で押さえる。(図 5)



化粧目地をとる工法

ジョリパットを下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図 5

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

**塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。  
施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。**

以 上